

経営の基本方針・経営の中長期的方向性

当社グループは、長期的な視点でめざすありたい姿である「経営理念」およびそれを実現するための経営ビジョン・行動指針から構成される「経営の基本方針」を定めています。

経営の基本方針

経営理念 ～長期的な視点でめざすありたい姿～

わたしたちは、アセットの潜在力を最大限に引き出し
社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献します。

経営ビジョン ～ありたい姿を実現するためにめざすべきもの～

- 地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、社会的課題を解決します。
- 世界各地の多様なステークホルダーとの価値共創を通じて、持続可能な成長をめざします。
- デジタル技術とデータの活用によりビジネスモデルを進化させ、企業価値の向上を図ります。
- 社員一人ひとりが働きがいと誇りを持ち、自由闊達で魅力ある企業文化を醸成します。
- 法令等を遵守し、健全な企業経営を実践することで、社会で信頼される企業をめざします。

行動指針 ～社員一人ひとりが“持つべき価値観・心構え”“取るべき行動”～

チャレンジ	未来志向で、責任を持って挑戦する。
デジタル	デジタルリテラシーを高め、変革を創り出す。
コミュニケーション	対話を通じて相互理解を深め、社内外のステークホルダーと信頼関係を築く。
ダイバーシティ	多様性を受容し、相互に尊重する。
サステナビリティ	人・社会・地球と共生し、持続可能な世界を実現する。
インテグリティ	高い倫理観を持ち、絶えず基本に立ち返る。

経営の中長期的方向性



CX: Corporate Transformation

10年後の
ありたい姿

SX / DX

SX (Sustainability Transformation)

マテリアリティ(重要課題)への取り組みや強固な経営基盤を通じ「環境価値・社会価値との共存・共栄」と「持続可能な成長」を実現する。

- ① マテリアリティを基軸とした事業戦略
- ② 持続可能な成長を支える強靱な経営基盤強化戦略
- ③ ステークホルダーとの信頼関係構築(エンゲージメント向上)

マテリアリティ ▶ P.17

DX (Digital Transformation)

“顧客起点”と“未来志向”でデータ・デジタル技術の活用と戦略的投資の実行による「顧客価値の“新たな創造”や“質的向上”」を実現する。

- ① DX人材の養成・獲得
- ② DX体制の基盤構築
- ③ 攻めのDX体制構築
- ④ 新事業開発

事業ポートフォリオ変革

ポートフォリオマネジメント

将来的にも企業価値向上に貢献しないビジネスからの撤退を果敢に進めるとともに、事業ポートフォリオの最適化を図ることで、持続可能な成長と中長期的な企業価値の向上を果たす。

- 中長期視点で事業のあり方を徹底的に見直し、経営資源の戦略的配分により新規投資を推進する。
- 資本コストを認識した経営管理を進化させ、中長期的なリターンを創出する。
- 経営資源(資本・資金・人材など)の有限性を意識した上で、「バランスシートの最適化」により資本効率を追求する。

ビジネスモデルの進化・積層化

- Ⅰ 既存ビジネスの収益力強化と効率化
- Ⅱ 既存ビジネスから高付加価値サービスへのシフト
- Ⅲ 新ビジネスの「開発」